

「笑顔あふれるまち 飯南町」

2020

8

No.188

いーなん

好きなことを
続けるといつかこと





第36回上野の森美術館大賞展・絵画大賞「プラスチックガール」

新型コロナウイルス感染症が猛威を振り、閉塞感が漂う地域。企業や地域の経済に影を落とす中、オリンピックの延期、夏の甲子園やインターハイ、各種コンクールの中止など、1年間の集大成として練習を頑張ってきた子どもたちもその影響を受けています。そんな子どもたちに、飯南町出身の油絵画家がエールを贈ります。

好きなことを続けるということ

飯南町出身の画家

令和2年2月27日、東京都台東区、上野公園。園内の一角、上野の森美術館ギャラリーで開催されているのは、飯南町出身の油絵画家八嶋洋平さん(34)の描く絵画の展覧会です。会場内の一番奥に展示されている今回の主役作品「プラスチックガール」は、平成30年に制作した縦164×横130.3センチメートルの油絵。

この日は展覧会の最終日で、一緒に絵を学んだ後輩たちや地元と同級生など多くの人が来館し言葉を交わしていました。

洋平さんは、昭和58年から毎年開催されている「上野の森美術館大賞展」の第36回大賞展(平成30年)で絵画大賞を受賞。全国から応募のあった953点の作品の中から6点が受賞作品に選ばれ、先に紹介した「プラスチックガール」を描いた洋平さんが、最も優れた作品に贈られる大賞を受



京都嵯峨芸術大学4年生の時の卒業制作

賞しました。今回の展覧会は大賞受賞者の作品を展示する個展で、令和2年2月15日〜27日の日程で開催され、期間中3千人を超える人が来館しました。

やりたいを実現するために

洋平さんは飯南町出身。もともと絵を描くことは苦手だったといいますが、なぜ画家の道に進もうと思ったのか。

高校卒業後の進路を決める2年生の終盤、将来の職業の候補に挙がっていたのが「保育士」と「絵に関わる仕事」でした。「保育士は子どもが好きだったこと、絵に関わる仕事は中学生の時の写生大会で描いた絵が賞を受賞してうれしかったことが記憶に残っていたから。でも保育士は、小さな子どもに関わる仕事だから責任が重たくて大変そうだな。少しネガティブな理由から、とりあえず芸術の方に進んでみようと思いました。けど絵

から授業後にほぼ毎日予備校に通って、ひたすら描く練習、デッサンの練習をしているんです。絵を描く上で必要な描写力、観察力、構成力が当時の僕には足りなかった。大学に入ってから本格的に勉強する人はかなり珍しかった。大学進学から1年経ったとき、転機が訪れます。京都の画塾で先生をしていた飯南町出身の親戚の方との出会いです。親戚の方のお母さんの葬儀で、洋平さんのおじいさんがその先生とぼったり会って、洋平さんが京都で絵を勉強していることを話すと、「私のところで学んでみないか」と。それから大学の授業後に週4日ほど画塾に通うように。



八嶋洋平さん
昭和60年:飯南町生まれ
平成20年:京都嵯峨芸術大学(現・嵯峨美術大学)芸術学部造形学科卒業
平成25年:広島市立大学大学院芸術学研究科博士後期課程 単位取得満期退学
平成28年:第2回藝文京展2016・優秀賞、シエル美術賞展2016入選
平成30年:第30回全国絵画公募展IZUBI・優秀賞、第36回上野の森美術館大賞展・絵画大賞、ドイツ・ハノーファーにて滞制作

学。ここで平成27年に結婚することになる妻のめぐみさんと出会います。めぐみさんも画家で、作家「山浦めぐみ」として日本画の制作を手掛け数々の賞を受賞しています。実はめぐみさんは、まだ高校生だった洋平さんに絵を通じて会ったことがあり、洋平さんのことを覚えていたのだそう。「描いた絵が著しく下手」と笑いながらめぐみさん。「この頃は絵を描く勉強をまだちゃんとする前だったから。描き方を分かってなくて描いちやうた感じ。でも京都で勉強して、基礎的なことを身につけて、大学院に進学できた。先生との出会いが将来を変えたんだね」

洋平さんが続けます。「『縁』って思ってもみなかったところですがながついているよね。でもこの出会いがなかったら絵を描くことを今も続けて

をいから生み出すことには苦手意識があつて、絵を直すことだったら手先が器用な方だったので、できるんじゃないかと。でもそれには化学の知識が必要で、これが難しくて…。だから最終的に『絵を描く』仕事の道に進むことを決めました」

しかし当時、飯南町には美術の授業がなく、教えてもらえる先生もいませんでした。そのため、三刀屋高校の美術の先生に「将来、絵を描くことを仕事にしたいのでデッサンを教えていただけませんか」とお願い。週1回三刀屋高校に通いながら学びます。そして高校3年生の3月下旬、京都嵯峨芸術大学(現・嵯峨美術大学)への進学が決まりました。

※デッサン:鉛筆やペンなどで、物体の形や明暗などを平面上に描画する美術の技法

未来を拓いていく出会い
「実は、美術系の大学に進学する人の多くは、高校生の頃

いられたかどうか。芸術の仕事は、人との『縁』が一番大事。例えば展覧会に作品を展示して、見に来た人が『私のギャラリーでも展示してみない?』と。次の展覧会でも同じことが繰り返されてつながついていく。見てくれる人がいないと、作品たちは世の中の人の目に触れることすらないかもしれない。だから『縁』はとても大事」

八嶋さん夫婦は現在、飯南町野萱にあるアトリエで絵画を制作しています。大きな絵を描くアトリエと、自宅兼アトリエの2カ所。いずれも地元の方から借りている場所です。「この場所で制作ができるのも、応援してくれる人、家族が築いてきた地域の人の関係のおかげ。そして、これまで絵を描き続けてきたからこそ今につながっていると思います」

※アトリエ:制作を行う専用の作業場

「好きを貫く」難くない

「どうやって食べていくのか」。芸術の道に進むことを決めたとき、周囲の人はそんな不安を感じ、反対の声もありました。そんなとき「それしかないと思うなら、とことんやってみたら」と背中を押してくれたのは母でした。

「絵を描いて食べていけるかどうか今でも不安に思うことはあるけど、食べていけるかどうかはやってみないと分からない。食べていくって決心してやってみるしかない。応援してくれる家族にすごく感謝しています」

八嶋さん夫婦は平成30年にドイツの都市ハノーファーに滞在し作品を制作していました。そのとき、日本とドイツの自分の好きなことや余暇に対する考え方の違いに驚いたのだそう。

「ドイツでは、自己実現、つまり好きなことをしたり、表現したりということ周りが寛容に受け入れてくれて、時間や余暇を自分や家族のために使い楽しむことをとても大切にしています。日本も社会全体がそんな雰囲気になっていけばいいよね。」

けばそれ自体が仕事・職業にもなるかもしれない。例えば、料理が好きでそれを突き詰めていけば料理家のような仕事にもなり得る。自分が好きなこと、夢中になれることを続けられる限り続けていけば、どんなに才能があっても続けないとそこで止まってしまがっていい。可能性は広がっていく。」

田舎だからって諦めなくていい

「田舎だと選択肢が少ないことはある程度しょうがないことだと思う。でも田舎には都会では経験できないことがたくさんある。人の魅力は、その人が育ってきた環境と経験によって形づくられるから、ここで経験できることは、かけがえないもの。」

それに移動も情報を手に入るのも便利な時代になったから、自分自身がやりたいと思っただけがあるなら、チャンスはどこにだってあるはず。やりたいことが分からないということもあるかもしれないけど、そんな時は、自分自身と向き合ってみる。好きなことは何なのかをじっくり考えることが大事なんじゃないかな。

いかな。家族や大人はその可能性を狭めないように、いろんな選択肢を提示してあげられたら。

大人は子どもがやりたいことをやらせてあげる。応援してあげばこそ反対するっていうのは大人の持論であって、その子にとってマイナスになるかどうかなんて分からない。本当にやりたいと思ったことなら、大人から見たら危ない橋を渡ってることであつたとしても、まずは応援してあげたい。」

私が描き続ける理由

洋平さんが描く作品にはよく人形が登場します。その人形には、人の感情が投影されています。

洋平さんは絵を描くことで「なぜ、その絵を描きたいと思ったのか。絵を通して自分の考えていること、伝えたいこと、感情を整理し、自分を理解して掘り下げて考える」のだと言います。

「人形に感情をのせる。幼少期になんとなく感じていたつらい思い、自分の中にそういう思いがあったから、こういうテーマで作品を描いています。アートとして見ればきれいだ

けど、僕からするとつらい記憶、描くこと自体がしんどい作業でもある。でも同じようなつらい気持ちを持っている人たちが共感し、『あ、その気持ち分かる』『この絵気になる』『絵を見てくれた人のそんな反応が楽しみ。見た人が何かを考えるきっかけになればと思っています』

新型コロナウイルス感染症の影響で、9月に開催予定だったニューヨークの個展は1年延期。さらに今年9月3月の間に予定していた、ドイツのケルンでの滞在制作も渡航許可が下りずどうなるか分からないようです。「難しい時期ではあるけれど、絵を通じてこれからも何かを伝えていきたい」

絵を描くことを通じて自分を見つめ続けてきた八嶋洋平さん。だからこそ、自分を知ることの大切さを知っているのだと。

「自分を知ること」「好きなことを続けること」。そしてそれを応援する家族が、大人たちが、地域があること。これは田舎の小さなコミュニティだからこそ実現できる身近な後押しのカタチかもしれない。その力はとても大きいはずだ。



ぼくたちの子どもは将来どんなことに興味を持つのかな。今から楽しみだね。

納得のいくまで描き続ける



令和元年7月。滞在制作先のドイツ・ハノーファーでの展覧会。多くの人が集まる。芸術と日常の近さに驚いた



学生の頃から使っているペインティングナイフ。絵の具を画面に乗せたり削ったりする



紙パレット



次の作品の構想を練る

野外で集結。狙え優勝 グラウンドゴルフ大会

公民館が主催するグラウンドゴルフ大会が、7月9日に来島地区で、7月17日に谷地区で開催されました。

●来島大会

各分館で編成された10チーム60人が出場。参加者はホールインワンに歓喜しながら全16ホールを回りました。

団体の部は和田チームが、個人の部は奥野哲男さんが優勝しました。



これでホールイン(来島)



入るか…入るか…?(来島)

●谷大会

谷地区の大人と子ども37人が参加。大人6チーム、子ども1チームに分かれ、谷独自の「10ホールルール」で回りました。

大人の部は藤井真二さんが、子どもの部は門脇恋音さんが優勝しました。



これで決めちゃうよ!(谷)

銀山街道を後世に 赤名峠で清掃活動

7/28
火



地域の皆さんの手でいつまでも

銀山街道の難所とされた赤名峠で清掃活動が行われました。

当日は、銀山街道応援団やボランティアなど15人が参加。旧国道入口付近から赤名峠までの草刈りや、街道に落ちている木々の除去などを行いました。

今年で23年目を迎える活動。万葉の時代から陰陽の交通の要所で、峠100選に選ばれた「赤名峠」を後世に伝えるために行われています。

飯南高校卒業生会「鵬雲会」 飯南高校に寄付金を贈呈

7/15
水

飯南高校卒業生会「鵬雲会」が飯南高校に寄付金を贈呈しました。

また、金築英明さん(第18期卒業生)からマスク2千枚の寄贈もありました。

生徒会長の岡夢乃さんは「学校行事が無くなってしまい、少し寂しい気持ちがありますが、いただいたマスクで新型コロナウイルス感染症に感染しないようにして、前向きに学校生活を頑張りたい」と話しています。



寄付金はマスクや消毒液の備蓄、オンライン授業機器の整備などに活用予定

竹を使ったものづくり 夏休みものづくり教室

8/5
水



のこぎりで竹を切るのは一苦労

谷地区の小学生を対象に「夏休みものづくり教室」が谷公民館で開催されました。

子どもたちは、講師の荻野英明さんと一緒に、竹を切ったり、竹に穴を開けたりしながら、風鈴や灯籠を製作しました。

この教室は、新型コロナウイルス感染症の影響でプールや盆踊りなどの地域行事が中止になり、友達と楽しむ機会が減った子どもたちに楽しんでもらおうと、地域の皆さんと公民館が企画しました。

伝統文化と一緒に体験 銭太鼓教室

8/5
水

古くから受け継がれている銭太鼓を体験する「銭太鼓教室」が赤名公民館で開催されました。

6日には、赤名小学校1〜6年生10人が参加し、安来節に合わせて銭太鼓を演奏しました。

4年生の吉川瑛太さんは「いろいろな動きがあるから面白いし、かっこいいし、難しい。上手になれるように、これからも練習していきたい」と話していました。



低学年が高学年に、高学年が低学年に披露する場面もありました

新チーム初の公式戦に挑む 飯南ワイルドボアーズ

8/9
日

飯南ワイルドボアーズスポーツ少年団は、飯南町唯一の少年野球チームです。平成26年に赤名ファイヤーズと頓原スポーツ少年団が一つになり誕生。今年3月に来島ボニーズのメンバーも加わり、総勢31人で新たなスタートを切りました。



みんなで次の試合の勝利を誓いました

8月9日に雲南市の木次運動公園野球場で開催された「第36回雲南学童軟式野球大会」で加茂スポーツ少年団と対戦。5対10で惜しくも負けてしまいましたが、主将の伊藤蒼さんは「判断や連携のミスが多かったので、負けてしまいました。この悔しさをバネに、家でもどんどん練習したい。次の試合は絶対に勝ちます」と話していました。



先発で登板した鹿田昌吾さん



センター前ヒットを放つ三上真央さん

金婚を迎えるご夫婦をお祝い

今年金婚を迎えられるご夫婦に記念品をお贈りします。

●対象 金婚(結婚50周年)を迎えるご夫婦(昭和46年1月1日～12月31日の間に結婚)

●記念品 ご夫婦の記念写真

●募集期限 9月11日(金)

今年の敬老会は中止します

今年の飯南町敬老会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止します。※9月21日「敬老の日」にCATVでお祝いのメッセージを放送予定

喜寿、米寿、白寿の方には、各区の民生児童委員を通じて記念品をお贈りします。

■問合せ 保健福祉課 電話72・1770

新型コロナウイルス接触確認アプリの活用を

新型コロナウイルス感染症を広げないために、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」をご利用ください。

COCOAは、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性を教えてくれるアプリです。利用者は陽性者と接触した可能性を把握でき、検査の受診など保健所のサポートを早く受けられます。

※連絡先や位置情報など、個人が特定される情報は記録されず、プライバシーは確保されます。

●インストールはこちらから



iPhoneから



Androidから

●アプリの詳細はこちらから



厚生労働省ホームページ

農業委員、農地利用最適化推進委員が決定

農業委員会委員の任期満了に伴い、新たに農業委員14人と、農地利用最適化推進委員14人を決定しました。また、7月20日の総会では、会長・会長職務代理を選出しました。

農地や農業に関することは、お近くの各委員が農業委員会事務局へご相談ください。

※両委員の任期は令和5年7月19日までの3年間

■問合せ

農業委員会事務局
電話76・2214

農業委員(敬称略)



農地利用最適化推進委員(敬称略)



令和2年度産地交付金の助成内容

産地交付金は、町地域農業再生協議会が策定した「水田フル活用ビジョン」に基づき、水田で一定面積以上の対象作物を生産・販売した場合に、面積に応じて交付金が交付さ

れる制度です。地域が戦略作物として設定する作物の振興を支援する目的で交付され、町がその活用方法を決定しています。

■問合せ 産業振興課 電話76・2214

	対象作物	助成単価	下限面積	対象とする要件
集団化助成	大豆	25,000円/10a	1ha	生産、販売(基幹の2作業以上を受託し、販売権を有する作業受委託契約に基づく作付面積を含む)
	そば	15,000円/10a		
	麦	10,000円/10a		
	WCS用稲	5,000円/10a		生産、販売
	加工用米、米粉用米	10,000円/10a		
	飼料用米	15,000円/10a		
地域振興作物助成	やまといも	30,000円/10a	1a	生産、やまといも生産組合への出荷
	とうがらし	15,000円/10a	1a	生産、販売
	トマト、メロン、パプリカ	10,000円/10a	1a	作物合計1a以上の生産、販売
	加工用青刈り稲	35,000円/10a	10a	しめ縄用の原料として生産、販売(自家利用含む)
	そば、なたね	20,000円/10a (二毛作:15,000円/10a)	1a	生産、販売
	飼料用米、米粉用米	12,000円/10a	1a	複数年契約(3年以上)の生産、販売
	飼料作物、WCS用稲(耕畜連携助成)	13,000円/10a	1a	水田放牧、資源循環に取り組んだ場合

※水田における対象作物の作付けが交付金の対象(畑での作付けは対象外)
※算出した交付金総額が国からの配分額を超えた場合は、助成単価を一律減額調整





健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 電話72-0221 ●来島診療所 電話76-2309 ●保健福祉センター 電話72-1770

【口も八丁、手も八丁】話も上手で、何かをするにも達人なことで、「八丁」は巧み・達人の意味。患者さんとのコミュニケーションを大切に、的確な治療ができる歯科医師でありたいと考えています。

【口も八丁、手も八丁】話も上手で、何かをするにも達人なことで、「八丁」は巧み・達人の意味。患者さんとのコミュニケーションを大切に、的確な治療ができる歯科医師でありたいと考えています。

飯南便り

口も八丁、手も八丁



飯南病院 副院長 三上隆浩

前回の「口は、幸い」のもとでは、これまでになく多くの反響があり、お褒めの言葉も頂戴しました。そこで調子に乗って、「故事、ことわざ」をもう少し掘り下げてみたいと思います。

「口も八丁、手も八丁」話も上手で、何かをするにも達人なことで、「八丁」は巧み・達人の意味。患者さんとのコミュニケーションを大切に、的確な治療ができる歯科医師でありたいと考えています。

保健福祉センター

住民健(検)診はじまります

9月から住民健診を再開します。年に一度は自分の健康を確認するために健診を受けましょう。また、健診後は必ず健診結果を確認し、精密検査や治療が必要な場合には必ず医療機関を受診しましょう。

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、延期または中止の場合もあります。

健診時のお願い

皆さんが安心して受診できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染防止へのご理解とご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症対策

①受付時間内に受診厳守

個人ごとに受付時間を指定しています。受付時間以外に来場された場合は、受付時間までお待ちいただくか、後日の受診となります。

②当日はマスクを着けて

マスクがない場合は入場できません。

③当日の体調を各自で確認

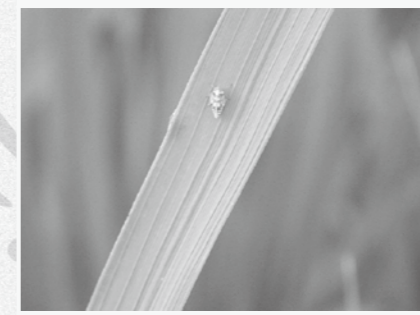
受診希望者への受付時間内に同封している「事前確認票」を記入の上、当日受付に提出してください。

④受付時に検温・手指消毒、常時換気・消毒等を実施

こんにちは
中山間地域研究センターです。

水稲の生育状況

●中山間地域研究センター
電話 0854-76-2025
<http://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>



セジロウンカの幼虫



トビイロウンカによる坪枯れ症状



出穂期を迎えたイネ

中山間地域研究センターでは、下赤名ほ場でさまざまな水稲品種の定点調査をしています。今年の生育進捗は、平年よりやや遅く、「コシヒカリ」が8月初旬からお盆にかけて、「きぬむすめ」はお盆過ぎから順次出穂期を迎えています。

今年はセジロウンカやトビイロウンカの飛来が確認されていて、斑点米カメムシも多く発生しています。中山間

地域研究センターでも、7月上旬にウンカ類の飛来を確認しています。

また昨年は晩生品種を中心に、トビイロウンカによる坪枯れが発生したので、指導機関からの情報に注意しながら防除をしてください。

コシヒカリは9月上旬から、きぬむすめは9月下旬から順次収穫期を迎える見込んでいます。高品質米生産のためにも、適期の収穫に努めましょう。

来島地区集落支援員の
朽木です!

6月に入って外出自粛要請が解除となり、来島地域でも徐々にサロンや健康長生き体操が再開され始めました。

野萱サロンでは、みんなで七夕の短冊を作りながら、新型コロナウイルス感染症の早期終息を切実に願っていました。



「3密」に気を付けながらの野萱サロン



住みよいまちへ

集落支援員

町内5地区で活動する、地域とともに歩む「集落支援員」の活動を紹介します。



4月に地元の皆さんと賀田城登山道の草を刈りました

上来島健康長生き体操では「やっぱりみんなと顔を合わせ、話をするのはええなあ」と話しながら笑顔で取り組んでいました。「自粛期間中はずっと家から出ない日が続いた」などのお話を聴くこともあり、改めて集いの場の必要性を感じたところです。

また、来島公民館では自粛期間中の「来島地域の魅力の掘り起こし」の一環で、下来島にある賀田城へ続く登山道を整備しました。近年は登る人も少なかったようですが、地域の宝を復活させたい地元の皆さんの協力もあり、登山道は見違えるほど綺麗になりました。今後は来島地域の歴史を学べる場所として、子どもたちのふるさと教育等に活用していければと思います。

来島拠点複合施設も、あと少しで完成です。図書館や大ホールもあり、今後の来島地域の地域づくりの拠点としてさまざまな交流の場となることを願っています。

自死予防週間

9月10日～16日は「自死予防週間」です。自死への理解・関心を深め、自分や周囲の人のこころの健康や命の大切さをみんなで考えてみましょう。

島根県では、毎年約1300人が、かけがえのない命を自ら絶つていきます。自死の多くは、心身の健康問題や人間関係に関する悩み、経済的な苦境などにより、追い込まれた末の死であると言われています。一人で抱え込まないで、まずは誰かに相談してみましょう。

島根いのちの電話

電話08552・267575
平日 9時～22時
土曜 9時～24時
日曜 0時～22時

しまね分かち合いの会・虹

自死遺族のつどい
日時 9月5日(土)14時～17時
場所 出雲市民会館

内容 出雲市民会館
分かつ合いのつどい 14時～17時
(誰にも話せないその辛さを遺族だけで語り合います)

交流会
(自死問題 遺族支援に関心がある人との交流会)
参加費 300円(資料・茶菓子代)

問合せ
しまね分かち合いの会・虹(桑原)
電話090・4692・5960
(24時間電話相談対応します)

自衛官募集

募集内容
自衛官候補生(陸上・海上・航空)

応募資格
日本国籍を有し、18歳以上33歳未満の人(採用予定月の1日現在)

試験科目
筆記試験(国語、数学、地理歴史、公民、作文、口述試験、適性検査、身体検査、経歴評定)

試験会場
陸上自衛隊出雲駐屯地

第6回
応募期間
9月18日(金)～10月8日(木)

試験日
10月10日(土)

第7回

応募期間
10月9日(金)～11月12日(木)

試験日
11月14日(土)

第8回
応募期間
11月13日(金)～12月3日(木)

試験日
12月5日(土)

問合せ
自衛隊島根地方協力本部
電話08552・210015

Net119緊急通報システムの運用が始まります

「Net119緊急通報システム」は聴覚や言語機能の障がいがある人が、スマートフォン等からインターネットを利用して119番通報ができるサービスです。
利用するには事前の申請・登録が必要です。

利用対象者
・飯南町、雲南市、奥出雲町に在住、在勤、在学している人

・聴覚・言語機能に障がいがあり、

申請方法

- ①webページで必要な情報を入力(スマートフォンやパソコンからログイン)
②登録承諾書兼利用申請書を雲南消防本部に提出



雲南消防本部ホームページ

問合せ
雲南消防本部 通信指令課
電話0854・400119

三次高等技術専門校 仕事体験入学者募集

対象 中学校・高等学校の生徒、一般求職者
日時 9月19日(土)9時～11時30分、13時～15時30分
場所 三次高等技術専門校
(三次市十日市南6丁目14-1)

応募方法 郵送かFAXで参加申込書を提出
応募期日 9月16日(水)まで
※希望者が多い場合は先着順
問合せ
三次高等技術専門校
電話0824・623439

求人情報

直近1カ月に受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所 電話76-2864(役場地域振興課内)
※表示のない市外局番は「0854」です

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details (Age, License, etc.)

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

Table with 2 columns: Company Name/Job Title and Details

中小企業退職金制度

中小企業退職金制度は、国がサポートする中小企業のための退職金制度です。

- ・安全：国の制度なので安心です(掛金の一部が助成)
・有利：掛金は全額非課税です(手数料なし)
・簡単：社外積立で管理が簡単です(退職金試算額などもお知らせ)

問合せ(独)勤労者退職金共済機構中小企業退職金共済事業本部
電話03・6907・1234

建設業退職金共済制度

建設業退職金共済制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場での従事者の福祉の増進と建設業を営む中小企業の振興を目的に設立された退職金制度です。

- ・経営事項審査で加点評価の対象
・掛金の一部が助成
・法人は損金、個人は必要経費で取り扱い(掛金は事業主負担。税法上全額非課税)
・事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算

詳細はお問い合わせください。
問合せ(独)勤労者退職金共済機構建設業退職金共済事業本部
電話03・6731・2867



森林セラピー通信

森のたより

森林セラピー基地 2つ星認定を目指して

全国65箇所の森林セラピー基地の中で、特に優れた基地に対して与えられる2つ星認定。2つ星認定を目指す飯南町の森林セラピー基地で実地調査がありました。

調査にはNPO法人森林セラピー・ソーサエティの瀬上理事長と須藤理事が訪れ、森林セラピーと飯南町の観光資源を見て回られました。



赤名湿地の貴重な動植物が住む環境に興味を持たれました

セラピー前のヘルスチェックの1コマ



お好みの精油でアロマ体験



調査は無事終わり、早ければ9月頃に結果が出る予定です。認定となれば、今年4月に2つ星認定を受けた「長野県信濃町」に次いで全国2番目、西日本初の「2つ星セラピー基地」となります。

コロナ禍で健康や免疫力アップに注目が集まる今、森林セラピーの可能性に期待が高まります。



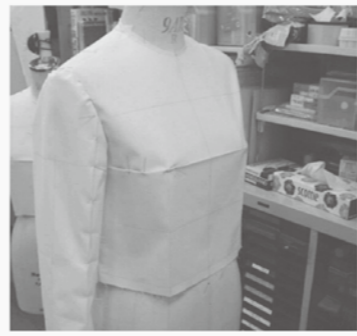
参考になるアドバイスもいただき、有意義な調査に

まちを元気に！ 地域おこし協力隊

飯南町内のさまざまな地域課題の解決に取り組む「地域おこし協力隊」の活動を紹介します。今月は、国道54号活性化担当の山本かおり隊員の活動報告です。

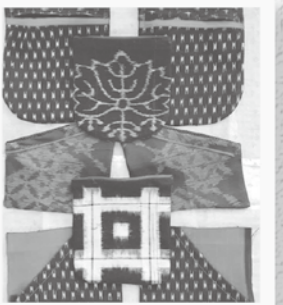
3年前に大阪から孫ターンし、国道54号活性化アクションプラン推進協議会の事務局として3年間活動してきました。その活動の中で、町内外の多くの人たちに出会い、一緒に活動できたことが大変貴重な財産となりました。

この8月で3年の任期は終了しますが、これからも町民の一人として国道54号の活性化に携わっていこうと考えています。



オーダースーツ等のご相談も承ります！

また、大阪で服飾の企画会社に勤めていた経験を活かして、縫製企業などでさまざまな職種の仕事着や、オーダースーツの企画・縫製・販売を主に手掛けていきます。町内外の人たちが「着る」ことで楽しくなれば良いと考えています。ほかに、廃棄される着物や農作物をどうにかできないか模索中です。



着物の生地を再利用したポケットづくり

最後になりましたが、大自然に包まれた飯南町での暮らしは、息子の心も大きく育んでくれました。山に登り、川で泳ぎ、いろいろな虫を見つけては観察し、庭で野菜を育てては実りを喜ぶ。大阪で暮らしていた頃には到底できなかった体験が、息子を子どもから少年へと成長させてくれたのだと思います。そんな息子や私を温かく受け入れてくれた飯南町の皆さん、3年間本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願ひします。

短歌

頓原公民館短歌教室 七月詠草

- 「おじいさん」と他人から初めて呼ばれたりそうか確かに今年古希か 安部 徳則
朝毎の新聞の歌謡む我を充たして呉れる見知らぬ歌人 岡田 繁富
森深く迷い込みたる心地して夫の名呼べと呼べど還らず 景山サチ子
畦畔は草刈せまり老の身にむち打つようにほほえみかける 景山 稔
楽しいな野球放送にワクワクす「打てよ打てよ」テレビに向かい 景山 牧栄
初咲きの赤いバラ輪夫の臥す窓辺にありて見舞つごとくに 片岡 千鳥
真つすぐに落ちくる雨を縁に立ちただ眺め入る梅雨の一日 塩田美代子
スーパ―は出る人来る人皆マスク呼びかけられし声に気づくも 千葉トミエ
抜け落ちる気力拾いて立つ我に五月の風が背後より吹く 藤原 正
「コロナ禍の哀しき心によりそうか」ほたるぶる「のひそ」と咲く 本間 啓美
梅雨晴れの木漏れ日うれし深呼吸腰をなでつつ母思い出す 三上 朋子
休校が終わり早朝賑やかに鈴音響かせ元気な登校 山本 正敏

今日の人権標語

「家族でつくる人権標語」優秀作品から

なかよしは 人のいけんも きけること

赤名小4年 三島 希美さん 家族名 三島 千春さん

標語に込められた思いを町民みんなで意識し、差別や偏見のない明るいまちづくりをめざしましょう。

すこやか

7月届出分

- 新生児 届出人 地区
石田 泉海 大 輔(上赤色)
橋本 莉緒 雅 史(上赤色)
小玉 紬 淳 史(花 栗)
お名前 親族 地区
小林 ゆかり 直 巳(町 区)
片岡 格 千 鳥(敷 波)
石田 昇 一 登(上赤色)
面坪 治隆 様(85) 久 美(上赤色)

今日の表紙

新生飯南ワイルドボアーズの少し遅い夏が始まりました。初の公式戦前の練習で少し緊張した様子の選手たち。でも野球をしているときの顔は、なにより楽しそうでした。(Pに関連記事)
主将の伊藤蒼さんは、野球が大好きで、自宅でも練習三昧の毎日を送っています。
好きなことを続けるということ。それが今月の特集テーマ。



広報い〜なん7月号掲載「今日の人権標語」のお名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。(誤)小野 那由多さん (正)小野 那佑太さん

まちのスケジュール

■教育 ■健康・保健 ☆文化・体育 ◆その他

2020.9

日	月	火	水	木	金	土
8/30	8/31	1	2	3	4	5
			+ ほっと。Café (来島保健センター) (ペピーマッサージ) 10:00~13:00	+ 乳幼児スキンケア 講習会 (役場本庁舎) 10:00~12:00		◆ 親子で防災キャンプ (赤名農村環境改善センター)
6	7	8	9	10	11	12
			+ ほっと。Café (来島保健センター) 10:00~11:30			■ 各中学校体育祭
13	14	15	16	17	18	19
■ 赤名小学校運動会 (雨天順延)			+ ほっと。Café (来島保健センター) (食講座【大人】) 10:00~13:00	◆ 座談会 「このまちの『やりす ぎ』と『足りない』」 (ふれあいホールみせん) 19:00~		■ 頼原・志々・来島 小学校運動会
20	21	22	23	24	25	26
◆ しまね家庭の日	敬老の日	秋分の日	+ ほっと。Café (来島保健センター) 10:00~11:30		◆ はびこ無料結婚相談会 (飯南町役場) 18:00~※予約制	
27	28	29	30	10/1	10/2	10/3
	■ 少年自然の家 宿泊研修(~30日)		+ ほっと。Café (来島保健センター) 10:00~11:30			

し尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頼原 志々	7日(月) 9日(水)
赤名	19日(土) 23日(水)
来島	11日(金) 14日(月)

資源物

収集地域	収集日
頼原	16日(水)
赤来	23日(水)

金属類・灰類 陶器・ガラス類 くづ類・プラスチック類 くづ類・プラスチック類

収集地区	収集日	収集日
頼原 連担地	28日(月)	14日(月)
八神 連担地	30日(水)	16日(水)
頼原・八神連担地以外	29日(火)	15日(火)
赤名 連担地	23日(水)	7日(月)
来島 連担地	25日(金)	9日(水)
赤名・来島連担地以外	24日(木)	8日(火)

[頼原地域] 電話72-1401 [赤来地域] 電話76-2441

[いいしクリーンセンター] 電話72-9217 ※決められた日時をお守りください。

町の人口 ●4,758人(前月比-3人) ●男性2,230人 ●女性2,528人 ●世帯数2,055戸 R2.8.1 現在



スマホで広報紙を
読みませんか?